

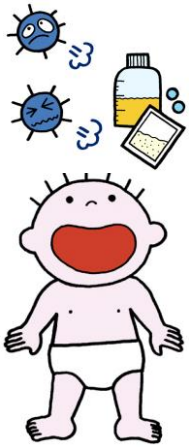


ママ友の井戸端会議

こども園さかえ
令和2年2月14日
編集 高橋久美子

こあら組(2歳児)

最近、子ども達から遊びのリクエストが飛び出すようになりました。この日も「ねえ先生♥お人形出してちょうだい♥」と、可愛くおねだり。早速、お人形を出してあげると、女の子たちがそれぞれにお人形を抱いて、おしゃべりが始まりました。お友達とのやり取りを聞いていると、まるでママ友たちの井戸端会議…小さなママ友たちの楽しい様子を紹介しますね。見ていない振りをして、笑いをこらえるのに必死でした。



「この子 お熱があるんです！」

「冗談じゃない！」

「かわいそう〜！」

「ジッカ(注射)しないとね！」



「お熱なの？大丈夫？」

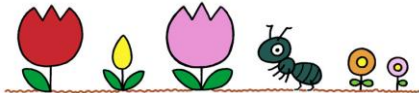
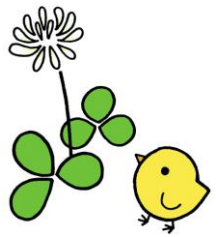
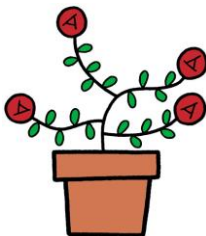
「病院に行かないと！」

「ミルクあげるか?!」



「ハナ出てるよ。」

「ギュッしてあげる！」



♥ 2歳児の子どもは言葉の獲得が目覚ましく、毎日の生活や遊びの中で色々な言葉に触れ、その時の状況に照らし合わせながら、正しい言葉の使い方も学んでいきます。最近のこあら組の子どもたちは、言葉そのものの理解だけでなく、言葉を発した相手の気持ちまでも理解できるまでに成長しました。熱のある子(人形)を心配したり、処置法を考えてあげたり、ミルクの心配までしてあげていました。まさに「遊びは学び」ですね。子ども同士の関わりの中から、思考力や判断力、表現力等の基礎がしっかりと培われていると実感します。健康な心と体は「豊かな人間性」につながります。今年一年の育ちは、これからの育ちへとつながり、大きく花開いてくれると信じています。